

馬場小学校に関する地域懇談会 ニュース

令和4年5月25日

仙台市教育局学校規模適正化推進室

第2回地域懇談会を開催 馬場小と秋保小の統合について合意されました

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、1月以降延期していた第2回馬場小学校に関する地域懇談会を4月23日（土）に開催し、出席した委員の皆様のご賛意により、馬場小学校と秋保小学校の統合について合意されました。

これにより馬場小学校に関する地域懇談会での協議は終了となり、今後は秋保小学区の皆様にもご説明の上、統合準備委員会を設置し、新しい教育環境等について協議を続けていくこととなります。

地域懇談会としての結論

- 馬場小学校は、より多くの子どもたちと学び合う教育環境を作るため、秋保小学校と統合する。
- 秋保小校舎は令和10年頃に教室棟の更新時期を迎え、建替えが必要となる状況であることから、統合を機に秋保中学校敷地内に移転・新築し、新校舎の完成(令和9年3月見込)に合わせて統合する。

これまでの経過

平成27年	P T A役員との意見交換会を開始
平成30年	全保護者との意見交換会を開始
令和元年	馬場連合町内会役員との意見交換会を実施
令和2年11月	学区内の5町内会での意見交換会を実施
令和3年11月	第1回地域懇談会 【統合の方向性及び時期について確認】※
令和4年4月	第2回地域懇談会 【統合について合意】※



※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、複数回の延期を経て開催

教育委員会からの説明

秋保小との統合に向けた協議体制やスケジュール、また今後の教育環境などについて説明いたしました。



【第2回馬場小学校に関する地域懇談会】

統合準備体制等について

○ 統合準備委員会への移行・設置

統合について、秋保小保護者及び地域の皆様への説明後、馬場小・秋保小の両学区の関係代表者（小学校・PTA・町内会・体育振興会・教育委員会等）で構成された『統合準備委員会』を設置し、子どもたちの新たな教育環境整備のため、統合に向けて協議等を行っていきます。

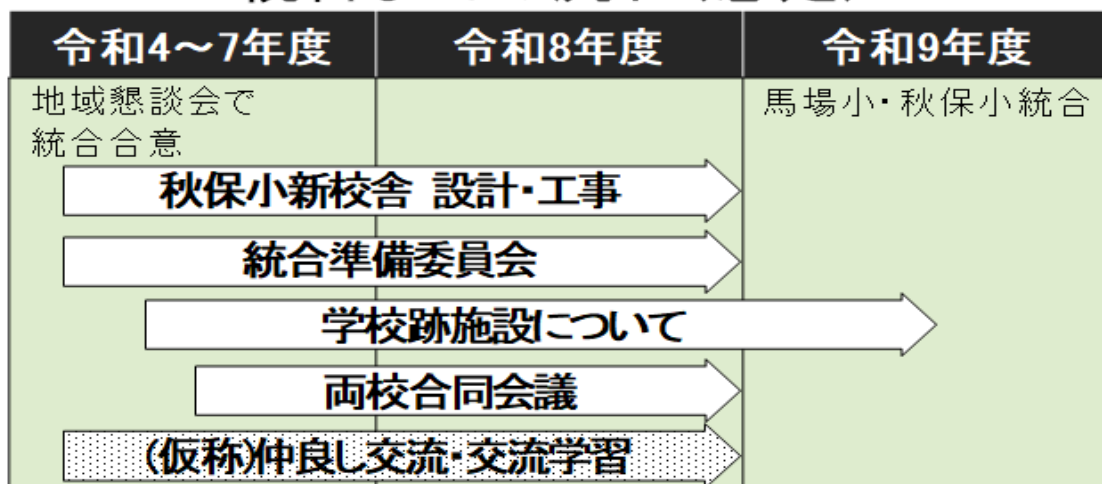
○ 統合準備委員会（分科会）

PTA活動、学区民体育振興会、子ども会など、関係者間での検討が必要な事項については、分科会を設けて集中して協議いたします。また、統合後の校舎（学校跡施設）の利活用に関する協議も分科会で行うことを想定しております。

○ 両校合同会議

両校の児童が統合後の学校で、すぐに活気あふれる新しい学校生活を送ることができるよう、学校間で協議・調整を行う場となります。具体的には、学校教育目標や学校行事、教材教具、学校の伝統の継承など、統合に必要な事項について検討を行います。

統合までの流れ(想定)



教育環境の改善に関する事項について

これまでの統合に向けた協議の中で皆様からいただいたご意見を踏まえ、教育環境の改善に関する今後の方向性について説明いたしました。

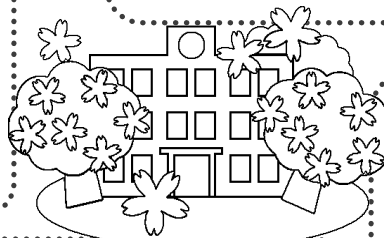
目指す教育環境

交流学習の充実

統合までの期間、現在行っている3校間交流の他に、馬場小・秋保小の2校間交流（(仮称)仲良し交流）も行うことで、親交が一層深まることが期待されます。令和8年度は、さらに交流する機会を増やします。

スクールバスによる通学支援

馬場小学区の小・中学生が安全に通学できるようにスクールバスを登下校・部活動時刻に合わせて運行します。



児童館の整備

現在、馬場小・秋保小両学区には児童館がありません。新校舎には児童館を合築し、放課後の子どもたちの居場所を確保します。

放課後子ども教室の実施

地域の方々の協力を得て、学習やスポーツ、交流活動の機会を提供し、地域で子どもを育む環境の充実を図ります。

新たな環境を生かした連携教育

秋保地域はこれまでも幼・小・中の連携教育が活発に行われてきました。秋保中敷地内への秋保小校舎の移転新築により、さらなる連携が期待されます。

意見交換の主な内容

統合準備について

懇談会委員：統合準備委員会や分科会の開催時期や回数はどうなるのか。

教育委員会：統合準備委員会の開催時期は、統合について合意形成が図られ、秋保小学区の皆様へ説明をしてからと考えており、早くても7月頃を想定しております。令和4年度は、検討事項の確認のために2回程度開催し、本格的な協議は令和5年度から年3回程度行いたいと考えております。分科会については年3～4回程度を想定しております。

懇談会委員：「(仮称)仲良し交流」は、校外学習だけでなく、授業を一緒に行うことも考えているのか。また、どのくらいの頻度で、どのような内容で行うのか。

教育委員会：日常の授業を一緒に行うことも含め、今後、両校と打合せをしながら交流学習の頻度及び内容について検討していきたいと考えております。

懇談会委員：学校の名称を募集することを検討してみてもどうか。

教育委員会：原則として、学校の名称は地域名にすることとしております。

統合後の教育環境について

懇談会委員：小・中連携はもちろん、幼稚園も加えた幼・小・中の連携を図ることは可能か。

教育委員会：小学校と中学校の連携効果が大きいと考えられるので、小学生と中学生が学び合う機会を創出しながら、その中で幼稚園との連携を検討していきたいと考えております。

懇談会委員：スクールバスは仙台市営バスになるのか、民間のバスなどになるのか。

教育委員会：馬場小については、統合による通学支援のため、スクールバスは無料での運行となり、バス事業者については、運行経路等が具体的にになった段階で検討いたします。

懇談会委員：児童館と放課後子ども教室を両方設置することは可能か。また2つの違いは。

教育委員会：児童館と放課後子ども教室の併設は可能で、実際に両方を設置している学区はあり、曜日や時間帯、内容等で利用者が選択しているケースが多いようです。児童館は市が設置する子どもの居場所であり、放課後子ども教室は、学校・PTA・地域等が連携して運営委員会を組織し、子どもの体験の場を創出する目的で事業を実施しています。

秋保地域全体の教育環境について

懇談会委員：今回は馬場小と秋保小の統合であるが、今後、湯元小も含めた統合は検討しないのか。

教育委員会：秋保中には馬場小、秋保小、湯元小の3校の児童が進学しており、小・中連携教育や、地域で子供たちを育む環境のさらなる充実など、秋保地域全体の子どもの教育環境を総合的に考え、馬場小学区・秋保小学区の皆様との検討状況も踏まえながら、湯元小学区の皆様にも情報提供し、意見交換を行ってまいりたいと考えております。

統合後の学校跡施設について

懇談会委員：馬場小は指定避難所になっている。統合後も地域に寄り添った対応をお願いしたい。

教育委員会：統合後も引き続き馬場小の施設を避難所として使用していく予定です。また、学校跡施設の利活用についても地域の皆様と一緒に検討してまいります。

今後について

地域懇談会の結果を受け、今後、秋保小保護者や地域の方々へ説明し、ご理解を得たうえで、円滑な統合に向けて馬場小・秋保小の関係者・地域の方々と共に統合準備委員会を設置し、協議を進めてまいります。その様子も「統合準備ニュース」として馬場小・秋保小学区にお住まいの皆様にお知らせしてまいります。

今後は両校の「(仮称)仲良し交流」を行うなど、子どもたちが新しい学校で、新しい友達と共に学び、共に遊んで、豊かな小学校生活を送ることができるようしっかりと準備を行ってまいります。保護者や地域の皆様には、これまでどおりのご支援・ご協力をお願いいたします。

仙台市教育局 学校規模適正化推進室

住所：仙台市青葉区上杉一丁目5-12 仙台市役所上杉分庁舎11階

TEL：022 (214) 8432 FAX：022 (264) 4428 Mail：kyo019031@city.sendai.jp